

開館25周年特別企画展

南九州の現代作家たち メッセージ2007

MESSAGE 2007

AM9:00 - PM5:00 月曜及び2/13休館

2007 1.19 FRI - 3.11 SUN

赤塚 祐二 / 阿部 健二 / 菅 隆 紀仁 / 河口洋一郎 / 倉山 裕昭 / 黒木 周 / 児玉 幸子 / 高嶺 格 / 矢野 静明

■入場料／一般：800円(600円) [ペア：1,300円]・高大生：600円(400円) [ペア：900円]・小中生：無料／()内は前売・20名以上の団体料金・福祉関係(高齢者、障がいのある方)※団体は電話でのご予約をお願いいたします。

■主 催／都城市美術館・BTVケーブルテレビ

■後 援／宮崎県・鹿児島県・宮崎県教育委員会・都城芸術文化協会・宮崎日日新聞社・南日本新聞社・朝日新聞社・毎日新聞社・読売新聞西部本社・西日本新聞社・NHK宮崎放送局・MRT宮崎放送・UMKテレビ宮崎・MBC南日本放送・KTS鹿児島テレビ・KKB鹿児島放送・KYT鹿児島読売テレビ・エフエム宮崎・エフエム鹿児島・シティエフエム都城・MCN宮崎ケーブルテレビ・MCT南九州ケーブルテレビネット

■協 賛／都城観光協会・霧島酒造株式会社

■前売り券販売場所

【宮崎県】山崎文芸堂、うすい文芸堂、コスモス画廊、べいすん、滝の駅せきのお、ジャスコ都城、ブルーリボン、宮崎県立美術館、宮崎県立芸術劇場、宮崎山形屋、ボンベルタ橋、宮交シティ、イオン宮崎SC、コープみやざき各店、宮崎大学生協、青木画材店、ひまわり画材店、みやほら画廊、アートハウスゲルボア
【鹿児島県】霧島アートの森、山形屋、十字屋クロス、What、コープ鹿児島各店、高木画材、大谷画材、集景堂、鹿児島大学生協、国分進行堂



都城市立美術館

〒885-0073 宮崎県都城市姫城町7街区18号
Tel. 0986-25-1447 Fax. 0986-24-8103

南九州の現代作家たち メッセージ 2007

開館25周年を迎えた都城市立美術館は、都城を中心とする南九州の美術に焦点をあてた美術館活動を行ってきました。特に先回のメッセージ'97「南九州の現代作家たち」展では、それまで取り上げてこなかった新しい美術動向を紹介しました。今回、さらに10年を経た地域美術の状況の把握をもとに新しい表現形態の展覧会を開催します。近年の美術動向は、新しいもののほど様変わりしており、特にIT技術の進歩に伴う映像表現や、文化の根底を探るジェンダーや環境、福祉といった社会問題を直接取り扱う作品など、私たちに身近なものをテーマとしながら鋭い切り込みをみせています。

そのような中で、美術と市民とのかかわり方も変化しつつあります。アーティスト・イン・レジデンスやワークショップといった参加型のアート体験や美術館でのボランティア活動、街中での美術イベントなど身近で親しみのあるものへとシフトしているようです。しかしこの南九州に位置する都城地域では、まだまだ、そ

のような体験や作品を見る機会は多くありません。

今回の展示では、人が絵を描く動機を純粹に感じさせる平面表現、そしてその可能性を追求した作品と、日常に定着したテレビモニターやコンピュータを介した作品の二方向があります。際立つ色彩と描画のコントラストは、絵画表現の可能性をさらに押し広げ、最新の科学技術を表現システムとして取り入れた作品は、表現のみならず鑑賞者とのリアルタイムのコミュニケーションを確立させ、未来の表現を予兆させています。

各作品から出力される表面的な変化の驚きだけでなく、その作品が内包する現代から未来へのメッセージを南九州にゆかりのあるアーティスト9名の作品を通して感じて下さい。特に会期前から会期中にかけて制作者と接触できる機会を設けます。直接作家からメッセージを受けることも可能となり、新しいアート体験も楽しめます。

◆入館料

一般	800円	(600円)
高校・大学生	600円	(400円)
小学・中学生	無 料	

午前9時～午後5時(入館は30分前まで)
月曜休館(1月22日、29日/2月5日、13日、19日、26日/3月5日)
()内は前売り及び20名以上の団体料金、福祉関係(高齢者、障がいのある方)
※団体は電話でのご予約をお願いいたします。

◆交通案内



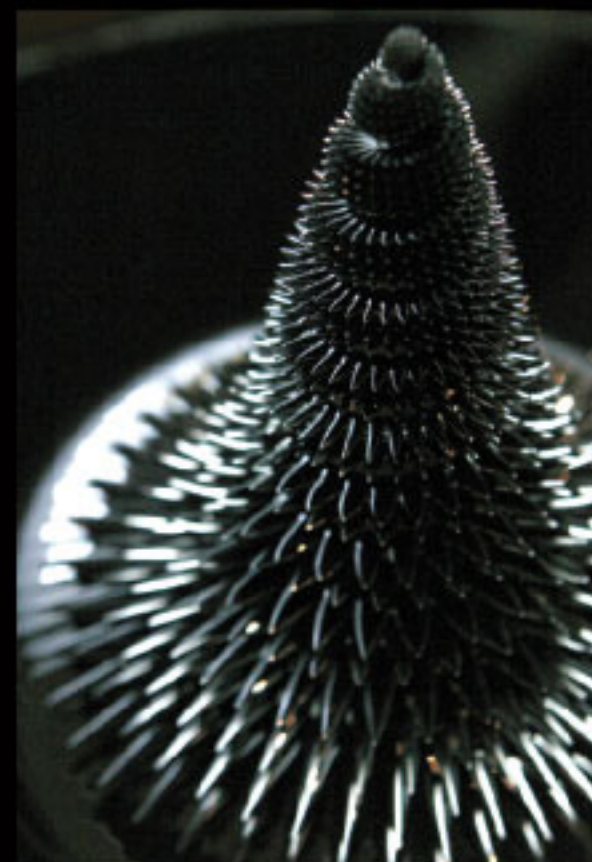
J R:
日豊本線「西都城駅」下車徒歩10分
吉都線「都城駅」下車タクシーで10分
バス:
「美術館前」バス停下車
「広口バス停」又は「西広口バス停」下車徒歩5分
「市役所前」バス停下車徒歩2分
「早稲入口」バス停下車徒歩3分
自動車:
宮崎自動車道「都城IC」から都城方面へ約20分
駐車場(無料):市役所駐車場約140台(身障者専用スペース1台)
※他施設との共用の為充分なスペースではありません。なるべく公共交通機関をご利用下さい。



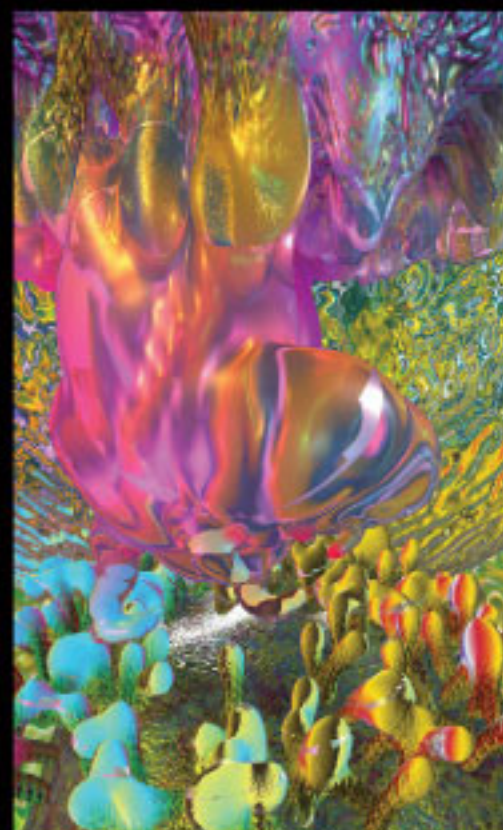
吉崎紀仁「La Paix」



赤塚祐二「Trees10508」



児玉幸子「MorphoTower」



河口洋一郎「Eggy」



阿部健二「偶然なる必然」



黒木 周「Quadrilateral-Red」

矢野静明「黄から赤へ」



高嶺 格「God Bless America」



倉山裕昭「on.3」



■関連事業予定

→ アーティスト・イン・レジデンス 「正直の国」

映像から舞台美術などで国際的に活躍する高嶺格氏の都城滞在制作
期 間:12月20日(水)～
滞 在 所:市内妻ヶ丘町
展 示 場 所:美術館展示室3

→ アーティスト・トーク

日 時:1月27日(土)14:00～
講 師:倉山裕昭
参加費用:無料(観覧券が必要です)

→ アーティスト・トーク

「アート・アニメーションの世界」
日 時:1月28日(日)14:00～
講 師:吉崎紀仁
参加費用:無料(観覧券が必要です)

→ 体験ワークショップ

「彫らない版画(コラグラフ)」
反転する絵の楽しみ
日 時:2月3日(土)18日(日)14:00～
講 師:黒木 周
参加費用:500円

→ 体験ワークショップ「偶然なる必然」

今僕はどこから来て、どこへ行くのか、作品の中の偶発的な制作に参加してもらいます
日 時:2月4日(日)17日(土)14:00～
講 師:阿部健二
参加費用:無料(観覧券が必要です)

→ 体験ワークショップ「絵画の成り立ち、あるいはサイのつかまえた」

物語にしたがって絵を描いていくなかで、楽しく絵画のしくみや成り立ちを考えてみよう
日 時:2月10日(土)
講 師:赤塚祐二
参加費用:1000円

→ メディアアート講演会

「メディア芸術—好きなことを結ぶ道」
理学部から美術作家になった児玉幸子氏(電気通信大学)が次世代を担う高校生に語りかける
日 時:2月24日(土)
場 所:都城泉ヶ丘高等学校
講 師:児玉幸子(電気通信大学助教授)

→ 体験ワークショップ

「突き出す・流れる・溶ける・お星さま!」
形を変える液体(磁性流体)を使って世界でただひとつの液体オブジェを作ってみよう
日 時:2月24日(土)午後
講 師:児玉幸子(電気通信大学助教授)
参加費用:3000円

(各イベントとも事前申し込みが必要です。詳しくは美術館までお問い合わせください)

→ ギャラリー・ツアー

(学芸員による展示解説)
日 時:3月3日(土)10日(土)14:00～
参加費用:無料
(申し込み不要、観覧券が必要です)

■関連協賛事業

●イメージケーキ・プロジェクト

展覧会期間中、ケーキ店7店によるイメージケーキの販売、割引等特典有り
(参加店舗:パティスリード M/O、菓子工房パティスリーショパン、ケーキハウス紙ひこうき、ケーキの店Taiki、ミロワール南香、お菓子の南香、菓子工房クルール)

●美術館通リカフェ

美術館入り口に土日のみ臨時に開設するセルフ・カフェ(簡易コーヒー)